

2022 年度事業計画

【2022 年度の基本方針】

2022 年度は、公募事業である「日本ジュエリー展」の展覧会を開催する。2021 年度に公募し、審査にて厳選された入選作品を表彰し、展示をする。

調査研究・育成事業の JJDA 講座は、国内外の講師による講演型のセミナーに加え、ジュエリーデザインの普及啓発を図る体験型の講座を各地で開催する。

展示・発信事業では、最新のジュエリーデザインの実作品を展示し、人々の生活文化の向上を図る。また、海外交流事業の拡大を見据えた情報発信を行う。本年度も SNS 等を使った迅速な発信方法を改善し、継続して各事業への参加者の増加、普及を図る。

【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業（公益目的事業1）】

1964 年創立当初から概ね隔年で 31 回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品を公募し、審査・表彰することにより日本のジュエリーデザインのレベルアップを図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。

2022 年度は、2021 年度に行なった「第 32 回公募 2022 日本ジュエリー展」の募集と審査から、選ばれた作品を表彰し、入賞・入選作品の展覧会を通して本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図る。

(1) 審査発表・表彰

2022 年 3 月審査終了後速やかに応募者に審査結果を通知する。

受賞作品については、プレスへの発表ほか、当法人ホームページで発表する。

図録を作成し、展示会場の他広く頒布する。

表彰は、以下の各賞毎に発表する。

大賞 1 名／優秀賞 2 名／under26 部門賞 1 名／海外部門賞 1 名／招待審査員賞 2 名／奨励賞若干名／
日本ジュエリー協会賞 1 名

※大賞、優秀賞、招待審査員賞、奨励賞、日本ジュエリー協会賞は全入選作品から選出される。

授賞式 2022 年 6 月 8 日 東京都美術館（コロナウイルス感染拡大状況により実施の有無を検討）

(2) 展示

「第32回公募2022日本ジュエリー展」の受賞作品及び入選作品の展示

会期 2022年6月8日～6月13日 会場 東京都美術館

(3) 主催、後援等

- ・主催 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会
- ・後援 経済産業省／文化庁／公益財団法人日本デザイン振興会／一般社団法人日本ジュエリー協会／
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会／公益社団法人日本インテリアデザイナー協会／
公益社団法人日本グラフィックデザイン協会／公益社団法人日本サインデザイン協会／
一般社団法人日本空間デザイン協会／公益社団法人日本パッケージデザイン協会／
一般社団法人総合デザイナー協会／日本経済新聞社

【Ⅱ ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業2）】

ジュエリーは生活に潤いを与え活性化させ、さらに心の拠り所として改めて人々の関心を集めており、生活に果たす役割などを研究する価値は大きい。

一般初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を高める。中級者へは、ジュエリーの歴史、文化に関する専門家による講演会を開催し、知識を深めることにより、最終的にプロへの道を拓くべく人材育成のステップアップを図るとともに、ジュエリーデザイナーとしてのスキルアップを図る。

国際的課題である知的財産権に関しては、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、デザイン価値の重要性を社会に発信していく。

(1) 調査研究

ジュエリーのデザインや制作技術は日々その領域を拡大してゆく。国内外の伝統的な技術を始め最新のデザインや素材・技術の調査研究を行うとともに年々多様化する知的財産権の研究を行う。

- ・第二次世界大戦後、日本のジュエリーデザイン史はどう変遷してきたのか。当時を知るキーパーソンにインタビューを行ない、記録として残し研究資料とする。
- ・「ジュエリーデザイン110番」の内容見直しを行い、ホームページ上において公開し普及推進する。
- ・日本デザイン団体協議会（D-8）／デザイン保護研究会への共同参加事業として、D-8加盟団体所属のデザイナーに対するアンケート調査活動他、知的財産権の社会への普及を図る。

(2) セミナー及びシンポジウム

調査研究の成果を、テーマ毎に広く一般、ジュエリーデザイン関係者、新人デザイナーの理解を深める講座及び特殊な専門知識について専門家を招いてのセミナーまたはシンポジウムを行なう。

①JJDA 講座「戦後ジュエリーデザイン史の研究発表セミナー」

会期 2022年7月4日 会場 Zoomにて実施 講師 菅沼知行氏、高橋まき子氏（共にJJDA正会員）

募集人数 100名

②JJDA 講座「秋田銀線細工セミナー」（東日本地区）

会期 2022年6～7月頃 会場 秋田銀線細工工房 講師 安藤康裕氏（JJDA正会員）他

募集人数 30名

③JJDA 講座「翡翠原石館見学会」（関東地区）

会期 2022年秋頃 会場 翡翠原石館（東京都品川区） 講師 翡翠原石館 館長

募集人数 15名

④JJDA 講座「オンラインセミナー&工房見学」（近畿地区）

会期 2022年11月頃 会場 Zoomにて実施 講師 海外在住のJJDA正会員または海外在住の外部講師

募集人数 100名

(3) 実地体験

初歩的なジュエリーを実際に制作することによってデザイン・制作に対する興味・理解を深め、将来のジュエリーデザイナー志望への緒とする。

①JJDA 講座「コンテポラリージュエリーを創るワークショップ」（中部地区）

会期 春、夏、秋の計3回 会場 Zoomにて実施 講師 浅井美樹氏（JJDA正会員） 募集人数 15名

②JJDA 講座「テクニカルワークショップ『箔の技法セミナー』」（中部地区）

会期 2022年8月 会場 Zoomにて実施 講師 小田伊織氏（静岡文化芸術大学）

募集人数 15名

③JJDA 講座「卒園コサージュ作り体験」講習会（西日本地区）

会期 2023年2月頃 会場 本井手みのり保育園（熊本県荒尾市） 講師 JJDA正会員（西日本地区）

募集人数 20名程度

(4) 講師派遣の実施

自治体、企業、団体、教育機関等及び海外からの要請に対応し、会員を講師として派遣してジュエリーデザインに関する講義や実技指導を行う。

【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業（公益目的事業3）】

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図ることを目的とする。

日本のジュエリーデザインの世界への発信を、さらに拡大し充実させるため、海外情報の収集と JJDA からの情報発信を推進し、交流を図り、国際相互理解の促進に努める。

機関誌の発行及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般に提供し訴求活動を行う。

(1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

①2023 年度開催にむけて、JJDA に所属する正会員、名誉会員等による展覧会「2023 日本のジュエリーアート」の企画を検討。

②「東急展 JJDA Art Jewellery Fair 2022 Autumn（仮称）」

会期 2022 年 9 月中の 7 日間 場所 渋谷東急本店（東京都渋谷区） 出品者 30 名程度

③「コンテンポラリージュエリーを創るワークショップ：オンライン展示とギャラリートーク」（中部地区）

会期 2022 年冬頃 場所 オンライン展示：当法人ホームページ / ギャラリートーク：Zoom にて実施

定員 出品者：ワークショップ修了者 15 名 / ギャラリートーク視聴者：100 名

(2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、アジア、欧米の諸機関とのネットワーク形成を推進し連携を図る。

ホームページ等を中心とした協会及び日本のジュエリーデザインに関する情報資料を充実させ、相互リンクの拡大を図るなど、情報の発信の体制を構築する。

①「ピナコテーク・デア・モデルネ キュレーター：ペトラ氏による Zoom セミナー」

会期 2022 年秋頃 場所 Zoom にて実施 講師 ペトラ氏（ドイツミュンヘンのピナコテーク・デア・モデルネ ジュエリー部門キュレーター） 定員 150 名程度

(3) 情報発信

機関誌及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供する。

機関誌では、事業の詳細な報告を、ホームページではタイムリーに公募事業のインフォメーション、各 JJDA 講座等の開催に関する情報を提供、発信する。

①機関誌「JJDA2023 No.57」A4 版 約 32 頁 2023 年 1 月発行

②JJDA ホームページの運営を充実化 <https://www.jjda.or.jp>

③ジャパンジュエリーフェア 2022 において JJDA 広報ブースを出展し、協会事業を告知する

④プレスリリースによるメディアへの働きかけ強化

⑤ジュエリーデザインに関するデータベース構築

【Ⅳ その他事業】

(1) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活発化し、長年在籍する会員から若年層への創作技法の伝承、見学会などを通して情報交換を行う。

①活動促進 「石・工具の譲渡会」、「web 展覧会」、「忘年会または新年会」

②西日本地区「Zoom 普及勉強会」

③会員相互の交流の場をつくる。

(2) 会報「FROM JJDA」及び「メルマガ from JJDA」発行 年 12 回 事務局編集・発行

各委員会（部会）、事務局よりの事業準備及び報告情報、各種展覧会情報等を会員へ速やかに伝える。

(3) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

①日本デザイン団体協議会（D-8）への参加

D-8 運営会議、デザイン保護研究会、ジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会等への参加

②国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

【V 管理等】

(1) 会議開催

①総会開催 2022 年 5 月

②定例理事会開催 2022 年 4 月、7 月、10 月、2023 年 1 月

③部会長会議・事業部会合同会議・委員会及び部会会議

・全国 5 地区部会及び事業等の各委員長・部会長による会議開催。年 2 回程度

・各委員会及び各担当による会議開催。年 計 60 回程度

(2) 諸規程の整備

(3) 会員情報管理

(4) 会員章碑の作成

(5) 協賛店の整備と拡大

(6) 正会員・賛助会員入会促進の検討

(7) 一般への情報提供サービスの検討

(8) 予算書・決算書作成

(9) 素材表記の検討・精査

(10) 会費納入の徹底

以上